

2025年7月12日開催 **参政党神谷代表の発言に抗議する市民アクション!**のご案内

私たちは怒っています。

参政党の神谷宗幣代表は、少子化対策を訴えるとして「今まで間違えていた。男女共同参画とか」といい、これに続けて「高齢女性は子ども産めない」といい、「子ども一人当たり、月10万円の教育給付金を渡すから、パートに出るよりも、事務でアルバイトするよりもいいじゃないか」「特に出産を担う女性を尊重しなければならない」といいました。

これは、女性を一個の人格ある個人として尊重するのではなく、女の生殖機能を社会のために使おうとし、女の価値を産むか産まないかで差をつける発想です。

神谷代表の女性差別発言に私たちは満身の怒りを表明します。

私たちは恐怖を覚えます。

参政党の神谷代表は、女子中高生にライフプランを提案するとし、大学にいかないで子どもを産んだら国が経済的にバックアップするといいました。これは、稼ぐのは男の役割で、家事育児は女の役割であるという、固定的性別役割分業意識・ジェンダーバイアスに満ちた発言です。金をやるからといって、女性に対し、大学にいかず仕事をせずに子どもを産み育てるという選択を積極的に奨励しています。女性が高等教育を受けて自ら稼ぐ力をつけることをここまで堂々と軽視する人物が既に国会議員であるということ、その政党が議席を大きく増やす予想があることに、私たちは恐怖を覚えます。

私たちは連帯し、責任を果たしたいです。

今の社会にも、いまだに女性差別は根強く存在しています。女性の賃金は男性より低く、女性の政治家や会社役員は極端に少なく、日本の女性は男性の 5.5 倍、[e]家事育児に時間を割いています。選択的夫婦別姓を求める声は多くあるのに、その声を聞かず、どうしても選択的夫婦別姓を導入したくない政治家が国会で権力を持っています。

参政党の「憲法構想案」は、数々の問題がありますが、同性婚も選択的夫婦別姓も認めないということを、憲法の条文という形で書いたものです。

参政党の神谷代表の女性差別発言は、メディアも取り上げ、ネットでも驚きと怒りの声が上がっています。それでもまだまだ、足りないと思います。

少しでもましな、少しでも差別がない社会をつくって次の世代に渡す責任を、私たちは果たしたいです。

上記の思いで開催された 7 月 6 日の横浜桜木町のアクションに連帯し、

7 月 12 日土曜日 17 時、三島駅南口前に集まり静岡県三島市でも声をあげます。参政党神谷代表の発言は許せないと思う方は、どなたでも三島駅南口に集合ください。

連絡先 090-1832-8878 浅羽愛